

順雲山 光照院 普仙寺

普仙寺だより

発行
浄土宗
順雲山
光照院
普仙寺
第305号
令和4年
1月8日



令和4年1月1日修正会にて
修正会に参拝された檀信徒の皆さん

とらどし

寅年は

いつから

令和四年は、干支（えと）では壬寅（みづのえ、とら）に当たります。

干支は中国暦に発し、十干十二支を組み合わせて年を数えます。

十干は、

甲（きのと） 乙（ひのえ） 丙（みづのえ） 丁（つちのえ）
戊（かのと） 己（みのえ） 庚（みずのと） 辛（かのと）
壬（みのえ） 癸（みずのと）

十二支は、

子（ね） 丑（うし） 寅（とら） 卯（う） 辰（たつ） 巳（み） 午（うま） 未（ひつじ）
申（さる） 酉（とり） 戌（いぬ） 亥（か）

といいます。

中国暦における年の数え方です。中国暦の新年から寅年（とらどし）になる訳です。

そのため旧正月の日、つまり西暦二〇二二年二月一日から寅年（とらどし）です。



令和3年12月26日、華頂婦人会役員の皆さんに
年末の大掃除をして頂きました。

令和三年十二月二十六日
に、華頂婦人会の役員の方

年末大掃除

に、年末の大掃除をして頂
きました。
境内や墓地をきれいにし
て頂きました。



令和3年12月26日、世話人会役員の皆さんに
年末の大掃除をして頂きました。

令和三年十二月二十六日
に、世話人会の方に年末の

年末大掃除

大掃除をして頂きました。
墓地の側溝掃除や本堂・
玄関・鐘楼・山門などをき
れいにして頂きました。

副住職結婚

副住職加藤良全は、宿世の深い仏縁ご縁をいただき



副住職加藤良全が石川愛さんと結婚しました。
ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

令和三年十二月二十四日に石川愛さんと結婚しました。檀信徒の皆さんには幾久しくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

寺行事案内

◎ 毎週土曜日

朝八時三十分～九時

どようらいはい

◎ 土曜礼拝

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として

1、マスクの着用

2、手指の消毒

3、1メートル以上の間隔を空ける

4、焼香はひとりずつをお願いします。

☆ふくじゅうしよくせつきよう

副住職説教

◎ 一月二十五日(月) 中止します。

☆かんねんぶつ

寒念仏

◎ 一月三十日(土)

中止します。

通常の土曜礼拝をお勤めします。

☆ぜんこうじによらい

えんにち

善光寺如来

縁日

☆つきなみほうよう

月並法要

◎ 二月八日(月)

住職と副住職とで勤めます。参拝不要です。

本堂改修工事

普仙寺本堂は明治三十四年（一九〇一）に新築されて以来一二〇年になります。令和三年二月より、改修工事が必要かどうか調査を



令和4年5月~令和5年6月
本堂の改修工事を行います。
寄付のお願いはありません。

依頼したところ、改修工事必要との結果がでました。令和三年九月一二日、施工業者の説明を受け、総代会において改修工事の内容と日程が決定しましたのでご案内申し上げます。

改修工事内容

- ① 礎石の拡幅
- ② 足固めの取り替え
- ③ 根絡み貫の新設
- ④ 耐震壁の新設
- ⑤ 内陣の建て起こし
- ⑥ 奥座敷間取り改修
- ⑦ 軒先の化粧板の新調
- ⑧ 左妻壁、破風板の新調
- ⑨ 向拝の新調、一軒から二軒への改修
- ⑩ スロープの新設
- ⑪ チタン屋根材による葺き替え

改修工事日程

- 令和4年5月 仏具移動・プレハブ設置
- 令和4年6月 外部足場掛け
- 令和4年7月 瓦降ろし

令和4年10月 礎石拡幅、土間防湿

令和5年1月 本堂屋根仕舞

令和5年4月・5月 足場撤去、養生撤去

令和5年6月 仏具移動

令和5年11月 落慶法要・稚児行列

改修工事費用

普仙寺積立金を使用します
寄付のお願いはありません

普仙寺だより「三〇五号」

発行 令和四年一月八日

発行所 普仙寺

発行者 加藤良光

〒四四一・八〇九三

豊橋市牟呂中村町六の五

電話番号

〇五三二・三一・七四五七